

日本東北学院大学アジア流域文化研究所・中国社会科学院考古研究所主催
日本東北学院大学亚洲流域文化研究所和中国社会科学院考古研究所主办
일본 동북학원대학 아시아 유역 문화 연구소와 중국사회과학원 고고연구소 공동 주최

オンライン 国際シンポジウム 中国都城考古の最前線 1

线上 国际研讨会 中国都城考古新进展 1

온라인 국제 심포지엄 중국 도성 고고의 새로운 전개 1

—漢魏洛陽城・鄴城の考古最新知見および日韓古代都城の発掘と比較研究—

—汉魏洛阳城和邺城考古新进展及日韩古代都城的发掘与比较研究—

—한위 낙양성 및 업성 고고의 새로운 성과와 한일 고대 도성의 발굴과 비교 연구—

會議次第/会议日程/회의 일정

12月19日(土/六/토)

10:00~10:20 **開幕式** 挨拶：谷口満 (日本 東北学院大学教授) (挨拶 5分+通訳 10分=15分)

開幕式 致词：谷口 満 (兼日中都城合作研究日方代表)

개막식 인사：타니구치 미즈루 (일본 동북학원대학 교수)

司会：下倉 涉 (東北学院大学教授) / 主持人：下倉 涉

사회：시모쿠라 와타루 (동북학원대학 교수)

事務連絡：佐川正敏 (東北学院大学アジア流域文化研究所所長、事務局)

会议联络：佐川正敏 (会议组) / 회의 연락：사가와 마사토시 (사무국)

第一部：中国都城考古学の新展開—漢魏洛陽城と鄴城を中心に—

第一部：中国都城考古新进展—以汉魏洛阳城和邺城为中心—

제1부：중국 도성 고고학의 새로운 전개—한위낙양성과 업성을 중심으로—

10:20~12:10 **基調報告** 「中国古代都城考古学の発見と研究」

专题报告 「中国古代都城考古的发现与研究」

기조보고 「중국 고대 도성고고의 발견과 연구」

朱 岩石 (中国社会科学院考古研究所副所長) (報告 40分+通訳 70分=110分)

朱 岩石 (中日都城合作研究中方代表)

주 연스(朱 岩石)(중국사회과학원 고고연구소 부소장,중일 도성 공동연구 중국 대표)

12:10~13:40 昼 休 み / 中 午 休 息 / 점심 휴식

13:40~15:15 報告 1 「漢魏洛陽城跡北魏宮城の考古学的新展開と意義」

報告 1 「汉魏洛阳城遗址北魏宫城考古新进展及其意义」

보고 1 「한위낙양성 유지 복위 궁성 고고의 새로운 진전과 의의」

郭 曉濤等 (中国社会科学院考古研究所副研究員) (報告 35 分+通訳 60 分=95 分)

郭 晓涛等 (中国社会科学院考古研究所副研究员)

귀 사오타오(郭 曉濤) 등 (중국사회과학원 고고연구소 부연구원)

15:15~15:30 休 憩 / 休 息 / 휴 식

15:30~17:05 報告 2 「鄴城の近年の主要な考古学的発見と成果—核桃園北齊大莊嚴寺の調査と発掘を中心に」

報告 2 「近年来邺城考古的主要发现与收获—以核桃园北齐大庄严寺的勘探与发掘为中心」

보고 2 「최근 邺城考古의 주요 발견과 성과-核桃園 北齊 대장엄사의 조사와 발굴을 중심으로」

何 利群等 (中国社会科学院考古研究所副研究員) (報告 35 分+通訳 60 分=95 分)

何 利群等 (中国社会科学院考古研究所副研究员)

허리쥬(何 利群) 등 (중국사회과학원 고고연구소 부연구원)

17:05~17:15 事務連絡 / 会议联络 / 사무 연락

12月20日(日/天/일)

第二部：韓半島と日本 6~7 世紀の都城の考古学的研究の現状と課題

第二部：韩半岛和日本 6 至 7 世纪都城考古的研究现状和课题

제 2 부 : 한반도와 일본 6~7 세기 도성의 고고학적 연구 현황과 과제

09:00~10:35 報告3 「百濟と新羅の都城の考古学的研究」

報告3 「百濟和新羅都城的考古学研究」

보고3 「百濟와 新羅 都城의 考古學的 研究」

李 炳鎬 (韓國 公州教育大學校教授) (報告 35 分+通譯 60 分=95 分)

李 炳鎬 (韓國 公州教育大學校教授)

이 병호 (한국 공주교육대학교 교수)

10:35~10:45 休 憩/休 息/휴 식

10:45~12:20 報告4 「日本古代宮都の考古学的研究-藤原京成立まで-」

報告4 「日本古代宮都的考古学研究-到藤原京成立-」

보고4 「일본 고대 궁도의 고고학적 연구-후지와라교의 성립까지-」

小澤 毅 (日本 三重大學教授) (報告 35 分+通譯 60 分=95 分)

小澤 毅 (日本 三重大學教授)

오자와 조요시 (일본 미에대학 교수)

12:20~13:20 昼休み/中 午 休 息/점심 휴식

第三部：報告へのコメントと回答 (各コメント 8/10 分+回答 4 分+通譯 23/26 分=35/40 分)

第三部：報告評議及应答 (每位評議 8 或 10 分+回答 4 分+翻譯 23 或 26 分=35 或 40 分)

제 3 부 : 보고에 관한 논평과 대답 (논평 8 or 10 분+대답 4 분+통역 23 or 26 분=35 or 40 분)

13:20~14:00 基調報告 (朱 岩石) へのコメントと回答

对专题报告 (朱 岩石) 的評議及应答

기조보고 (주엔스)에 관한 논평과 대답

コメンテーター : 妹尾 達彦 (日本 中央大學教授) (コメント 10 分+回答 4 分+通譯 26 分)

評議人 : 妹尾 达彦 (日本 中央大學教授)

논평자 : 세오 타즈히코 (일본 중앙대학 교수)

(14:00~15:20) 報告1 (郭 曉濤等) および2 (何 利群等) へのコメントと回答

对报告1 (郭 晓涛等) 和报告2 (何 利群等) 的评议及应答

보고 1 (귀 샤오타오 등)과 보고 2(허리훤 등)에 관한 논평과 대답

14:00~14:40 コメンテーター：佐川 英治 (日本 東京大学教授) (コメント 10分+回答 4分+通訳 26分)

评议人：佐川 英治 (日本 東京大学教授)

논평자：사가와 에이지 (일본 동경대학 교수)

14:40~15:20 コメンテーター：錢 国祥 (中国社会科学院考古研究所研究員)

评议人：钱 国祥 (中国社会科学院考古研究所研究員) (评议 10分+回答 4分+通訳 26分)

논평자：첸 귀상(錢 國祥) (중국사회과학원 고고연구소 연구원)

15:20~15:55 報告3 (李 炳鎬) へのコメントと回答 (コメント 8分+回答 4分+通訳 23分)

对报告3 (李 炳鎬) 的评议及应答

보고 3 (이 병호)에 관한 논평과 대답

コメンテーター：三上 喜孝 (日本 国立歴史民俗博物館教授)

评议人：三上 喜孝 (日本 国立历史民俗博物馆教授)

논평자：미카미 요시타카 (일본 국립역사민속박물관 교수)

16:55~16:10 休 憩/休 息/휴 식

16:10~16:45 報告4 (小澤 毅) へのコメントと回答 (コメント 8分+回答 4分+通訳 23分)

对报告4 (小泽 毅) 的评议及对应答

보고 4 (오자와 즈요시) 에 관한 논평과 대답

コメンテーター：寺崎 保広 (日本 奈良大学名誉教授)

评议人：寺崎 保广 (日本 奈良大学名誉教授)

논평자：테라사키 야스히로 (일본 나라대학 명예 교수)

第四部 総合コメント (コメントのみ 10分+通訳 20分=30分)

综合评议 (每位评议 10分+翻译 20分=30分)

종합논평 (논평만 10분+통역 20분=30분)

16:45~17:15 **総合コメント1／综合评议1／종합논평1**

コメンテーター：董 新林（中国社会科学院考古研究所研究員）

评议人：董 新林（中国社会科学院考古研究所研究員）（每位评议10分+翻译20分=30分）

논평자：동 신린（중국사회과학원 고고연구소 연구원）

17:15~17:45 **総合コメント2／综合评议2／종합논평2**

コメンテーター：谷口 満（日本 東北学院大学教授）（コメント10分）

评议人：谷口 満（日本 東北学院大学教授）

논평자：타니구치 미즈루（일본 동북학원대학 교수）

17:45~18:15 **総合コメント3／综合评议3／종합논평3**

コメンテーター：吉田 欢（日本 山形県立米沢女子短期大学教授）（コメント10分）

评议人：吉田 欢（日本 山形県立米沢女子短期大学教授）

논평자：요시다 칸（일본 야마가타켄립 요네자와 여자 단기 대학 교수）

18:15~18:30 **閉幕式 挨拶：朱岩石（中国社会科学院考古研究所副所長）（5分+通訳10分=15分）**

閉幕式 致词：朱岩石（兼中日都城合作研究中方代表）

폐막식 인사：주 옌스（중국사회과학원 고고연구소 부소장）